

四国遍路は四国4県に跨る全長1,400kmに亘る回遊型観光コンテンツである。従来より四国各地域で宿泊・巡礼路等の整備に取り組んでいるが、ロングトレイルを想定した四国遍路を統括する機能が不可欠であるという事が各地域で共有されつつある。また、アドベンチャーツーリズムの観点から四国遍路を見た時に、不足する情報が顕在化してきた。本事業では、地域の取り組みを紡いでいくとともに、不足する情報を補完する事をもって、これまで欠けていた a.プッシュ型による必要な情報の提供、 b.移動環境向上に向けたサービス提供の効果検証を行う。**2.(1)**

※ 赤の項目番号は「説明書」の該当箇所を示す。

1. 事業実施地域の現状・課題

<現状>

- 情報発信をするも、四国遍路に関する各種情報が乱立している為に、海外の旅行者及び潜在層に必要とされる情報が届いていない。
- このため、外国人遍路は増加傾向にあるが、スペイン・サンティアゴ巡礼路、熊野古道等と比べると、入り込み客数が伸びていない。

<課題>

- トレイルを目的としている人への使い勝手のよい情報の提供及び関係者間での情報共有化が不可欠。
- 外国人旅行者の多様性を踏まえて、歩き以外に、自転車の貸出しサービス、荷物の預かり・搬送サービス等の移動環境の整備が不可欠。

3. 目標値、効果検証・事業評価の手法

- 各種情報の整理により、海外の潜在層へ届けた情報の有益性及び不足する情報をアンケート、ヒアリング等により評価を行う。**3.(3)①**
- 移動手段の提供については、サービスを利用した外国人へのアンケート、ヒアリング等により利便性等に関する評価を行う。**3.(3)②**
- 荷物預かり・搬送サービスについても、同様の方法により行う。**3.(3)②**

4. 次年度以降の取組

- 四国遍路を統括するセンター機能の構築に向け、各地域、業界、企業等との合意形成を図る。

2. 事業概要

<事業主体>

四国運輸局、
(一社) 四国ツーリズム創造機構

<事業実施期間>

令和4年4月～令和5年3月

<取組概要> **3.**

ロングトレイルを目的とした外国人旅行者に向けた情報センター機能の事前調査を基に環境を構築し、効果を測定する。

[事前調査] 4～6月 **3.(1)**

- 海外の巡礼・トレイル愛好家グループ等の潜在層を調査

[環境構築] 6～11月 **3.(2)①～④**

- ロングトレイルに関する各地域の情報を収集し必要な情報の整理を行うとともに、その情報を各地域へ共有。
- 最新情報の連携体制の構築。
- 海外の潜在層に向けて旅マ工情報の発信、不足情報の補完。
- 交通手段多様化への対応として、有償による自転車貸出しサービス、荷物預かり・搬送サービス等を試行。

[評価・検証] **3.(3)①～②**

- a.プッシュ型による必要な情報の提供。
- b.移動環境向上に向けたサービス。

a.プッシュ型による必要な情報の提供

海外の潜在層等

- トレイル愛好家グループ
- 巡礼旅愛好家グループ



- 質問
- 評価
- 旅マ工情報
- 質問への回答

情報センター機能

- 使い勝手の良い情報の整理
- 情報の共有

- 共有
- 収集

地域の情報 (飲食、宿泊、巡礼路等)

b.移動環境向上に向けたサービス

自転車貸出
サービス

荷物預かり・搬送
サービス



- サービスの提供
- サービスの評価

利用した外国人旅行者 (モニター等)